

平成 18 年 3 月期

第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 1 月 27 日

上場会社名 アース株式会社

コード番号 8514

(URL <http://www.365132.jp>)

上場取引所 札幌証券取引所

本社所在都道府県 北海道

代表者 役職名 代表取締役社長 氏 名 太田 勝久

問合せ責任者 役職名 経営統括本部グループ長 氏 名 澤田 英幸

TEL (011) 622-1515 (代表)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便的な方法の採用の有無 : 無  
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無  
 公認会計士または監査法人による関与の状況 : 無

2. 平成 18 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 表示単位未満を切り捨てて表示しております。

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 3 月期第 3 四半期	2,081	( - )	232	( - )	247	( - )	154	( - )
17 年 3 月期第 3 四半期	-	( - )	-	( - )	-	( - )	-	( - )
(参考) 17 年 3 月期	-		-		-		-	

	1 株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
18 年 3 月期第 3 四半期	18 65	18 38
17 年 3 月期第 3 四半期	-	-
(参考) 17 年 3 月期	-	-

(注) 1. 当期より連結財務諸表を作成しているため、前年第 3 四半期実績及び対前年第 3 四半期増減率は記載しておりません。

2. 平成 17 年 11 月 18 日付けで 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。なお、1 株当たり四半期純利益、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益は、分割が期首に行われたものとして計算しております。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期における我が国経済は、企業収益の改善や民間設備投資の増加などに支えられ、景気全体としては緩やかな回復基調にあるものの、その回復の動きには企業規模、業種、地域間等の格差が見られ、本格的な回復には至らず、依然として厳しい状況で推移いたしました。

当社グループのコア事業の属する消費者金融業界におきましては、自己破産申立件数が減少する一方、弁護士・司法書士介入等の法的債務整理の件数が増加傾向にあり、また、業種・業態の垣根を越えた資本・業務提携や再編の動きが加速し、競争がさらに激化する中で推移しました。

このような経営環境下にありまして当社グループは、「営業貸付金残高の維持・増強」、「債権管理の強化・徹底」、「効率的経営」、「コンプライアンス（法令遵守）の徹底」を柱とした経営基本方針の実現に向け、積極的な取り組みを行ってまいりました。

以上の結果、営業収益は 2,081 百万円となり、営業利益、経常利益はそれぞれ 232 百万円、247 百万円となりました。また、四半期純利益は 154 百万円となりました。

なお、当社グループは、当期より連結財務諸表を作成しているため、対前年同期間との比較の記載を行っておりません。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	16,911	9,154	54.1	994 28
17年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)17年3月期	-	-	-	-

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	386	469	234	2,125
17年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)17年3月期	-	-	-	-

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、期首に比べ621百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末では2,125百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間において営業活動による資金の減少は、386百万円となりました。これは営業貸付金純支出が1,262百万円増となったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間において投資活動による資金の減少は、469百万円となりました。これは固定資産支出が216百万円、長期預金支出が400百万円となったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間において財務活動による資金の増加は、234百万円となりました。これは375百万円の株式の発行があったことなどによるものであります。

3. 平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	営業収益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	2,750	271	161	17 49

[業績予想に関する定性的情報等]

業績につきましては、概ね予想どおりに推移しており、現時点において平成17年11月18日の中間決算時に公表いたしました通期業績予想に変更はありません。

なお、ストックオプションの行使に伴う発行済株式数の増加により、1株当たり当期純利益(通期)を中間決算時に公表しました17円65銭から17円49銭に変更しております。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【添付資料】

1. 四半期財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

区 分	当 第 3 四 半 期 末 (平成17年12月31日現在)	
	金 額	構成比
(資産の部)		%
流動資産	13,227,169	78.2
現金及び預金	2,460,435	
営業貸付金	11,373,664	
有価証券	200,000	
その他	326,952	
貸倒引当金	1,133,884	
固定資産	3,684,557	21.8
有形固定資産	1,108,535	(6.6)
土地	559,183	
その他	549,351	
無形固定資産	152,174	(0.9)
投資その他の資産	2,423,848	(14.3)
投資有価証券	1,543,280	
その他	1,044,795	
貸倒引当金	164,227	
資産合計	16,911,727	100.0

(単位：千円)

区 分	当 第 3 四 半 期 末 (平成17年12月31日現在)	
	金 額	構成比
(負債の部)		%
流動負債	3,477,844	20.6
短期借入金	1,000,000	
1年内返済予定長期借入金	2,392,815	
未払法人税等	8,130	
その他の	76,898	
固定負債	4,279,336	25.3
長期借入金	3,931,001	
退職給付引当金	37,797	
その他の	310,537	
負債合計	7,757,181	45.9
(少数株主持分)		
少数株主持分		
(資本の部)		
資本金	1,867,860	11.0
資本剰余金	1,804,831	10.7
利益剰余金	5,063,761	29.9
その他有価証券評価差額金	543,743	3.2
自己株式	125,650	0.7
資本合計	9,154,545	54.1
負債、少数株主持分及び資本合計	16,911,727	100.0

## ( 2 ) 四半期連結損益計算書

( 単位 : 千円 )

区 分	当 第 3 四 半 期 ( 自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 12 月 31 日 )	
	金 額	百分比
营 業 収 益	2,081,471	100.0
营 業 貸 付 金 利 息	2,035,038	
そ の 他 金 融 収 益	1,314	
そ の 他 の 营 業 収 益	45,118	
营 業 費 用	1,848,917	88.8
金 融 費 用	135,227	(6.5)
そ の 他 の 营 業 費 用	1,713,689	(82.3)
营 業 利 益	232,554	11.2
营 業 外 収 益	22,656	1.1
营 業 外 費 用	7,482	0.4
経 常 利 益	247,728	11.9
特 別 利 益	18,638	0.9
特 別 損 失	4,323	0.2
税金等調整前四半期純利益	262,042	12.6
法人税、住民税及び事業税	7,208	0.4
法人税等調整額	100,147	4.8
四 半 期 純 利 益	154,686	7.4

## ( 3 ) 四半期連結剰余金計算書

(単位：千円)

区 分	当 第 3 四 半 期 (自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 12 月 31 日)	
	(資本剰余金の部)	
資本剰余金期首残高		1,608,790
資本剰余金増加高		
1.株式の発行に伴う資本剰余金増加高	187,860	
2.自己株式処分差益	8,181	196,041
資本剰余金第3四半期末残高		1,804,831
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高		4,959,435
利益剰余金増加高		
1.第3四半期純利益	154,686	154,686
利益剰余金減少高		
1.配 当 金	45,061	
2.新規連結に伴う利益剰余金減少高	5,298	50,360
利益剰余金第3四半期末残高		5,063,761

## ( 4 ) 連結キャッシュ・フロー計算書

( 単位 : 千円 )

区 分	当 第 3 四 半 期 ( 自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 12 月 31 日 )
営業活動によるキャッシュ・フロー	
1. 税金等調整前四半期純利益	262,042
2. 減価償却費	71,210
3. 権利金等償却費	40
4. 貸倒引当金の増加額	89,981
5. 有形固定資産除却損	2,058
6. 退職給付引当金取崩等	18,433
7. 貸倒償却費	657,039
8. 投資有価証券売却益	7,659
9. 受取利息及び配当金	10,236
10. 支払利息	128,776
11. 営業貸付金の貸付額	6,616,150
12. 営業貸付金の回収額	5,353,583
13. その他	103,499
小 計	191,244
14. 利息及び配当金の受取額	10,683
15. 利息の支払額	126,104
16. 法人税等の支払額	79,606
営業活動によるキャッシュ・フロー	386,272
投資活動によるキャッシュ・フロー	
1. 有形固定資産の取得による支出	216,856
2. 有形固定資産の売却による収入	138,215
3. 投資有価証券の取得による支出	35,900
4. 投資有価証券の売却による収入	60,934
5. 出資金の取得による支出	300,000
6. 定期預金等の預入による支出	435,700
7. 定期預金等の満期による収入	686,700
8. 長期性預金の預入による支出	400,000
9. その他	33,323
投資活動によるキャッシュ・フロー	469,284
財務活動によるキャッシュ・フロー	
1. 短期借入による収入	1,150,000
2. 短期借入金の返済による支出	1,650,000
3. 長期借入による収入	2,650,000
4. 長期借入金の返済による支出	2,276,203
5. 株式の発行による収入	375,720
6. 自己株式の取得による支出	1,191
7. 自己株式の売却による収入	29,498
8. 配当金の支払額	43,284
財務活動によるキャッシュ・フロー	234,538
現金及び現金同等物の減少高	621,018
現金及び現金同等物の期首残高	2,702,004
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加高	44,449
現金及び現金同等物の第 3 四半期残高	2,125,435

## 営業実績

### 営業収益の内訳

項 目		当第3四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)	
		金額(千円)	構成比(%)
営業貸付金利息	無担保ローン	1,938,851	93.1
	有保証ローン	58,229	2.8
	有担保ローン	1,803	0.1
	企業向融資	36,153	1.7
	計	2,035,038	97.7
その他金融収益	預金利息	1,274	0.1
	有価証券利息	39	0.0
	計	1,314	0.1
その他の営業収益	不動産賃貸収入	15,888	0.8
	償却債権取立益	23,319	1.1
	受取手数料	5,910	0.3
	計	45,118	2.2
合 計		2,081,471	100.0

### 営業貸付金残高の内訳

項 目		当第3四半期 (平成17年12月31日現在)
営業貸付金残高(千円)		11,373,664
	無担保ローン	10,255,141
	有保証ローン	477,476
	有担保ローン	18,746
	企業向融資	622,300
口 座 数(件)		29,934
	無担保ローン	29,645
	有保証ローン	278
	有担保ローン	4
	企業向融資	7